

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年1月28日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300076
法人名	(有) メディカルウイル
事業所名	グループホーム輝望の家
所在地	鹿屋市輝北町上百引1919-1 (電話) 099-471-3456
自己評価作成日	令和3年12月20日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NP0さつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和4年1月19日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな緑に囲まれた当施設は、周辺に季節の花が咲き、春には桜や菜の花、秋にはコスモスを見に周辺をドライブや散歩に出かけています。また、当施設のリビングは74.16㎡と広く、天井は吹き抜けで開放感があり、キッチン是对面式で食事作りの時に会話をしたり、匂いや音を感じられて家庭的な雰囲気となっています。会社の方針で理念や社訓・挨拶の唱和・職場の教養を毎朝朝礼で実施し、1日の目標や行動を確認し連携を取りながら御利用者様の尊厳を失わないよう御利用者様のペース・ニーズに合わせたケアを支援しています。レクレーションは、季節行事を感じられる物を取り入れ、楽しく参加できるよう支援しています。今年度は、アイパッドを導入したことにより、御利用者様の体調管理も全職員で共有しやすく、新型コロナウイルスによる面会制限時にはアイパッド(ライン)等を利用して写真・ビデオ・電話を利用して、メンタルケアも支援しています。毎月発行の新聞にも日頃の生活されている写真やイベント等を載せてご家族へ配布しています。ウッドデッキもあり季節の花を植えたり野菜を植えたりし成長を楽しみにされています。御利用者様から食事・おやつ希望を聞きリクエストに応じて提供もしています。おやつ作りにおいては一緒に材料を切ったり、こねたり、焼いたり等し、楽しい時間を一緒に共有しています。現在、正看護師は2名常勤でおり、24時間連絡ができる体制をとっており、体調管理や病院との連携も随時行っています。

尊厳ある生活が送れるよう利用者一人ひとりの尊重とプライバシーに関する研修を年間研修計画に組み込み、職員の言葉遣いや羞恥心に配慮した声掛けができるよう意識し支援につなげている。日常的にはプライバシーを損ねないよう耳元でさり気なくトイレ誘導の声をかけたり、排便の有無を利用者の居室で確認する等している。

献立表を作成する際に利用者に料理の本を見てもらったり、食べたいものを尋ねたりして参考にしている。毎日の調理に利用者も野菜の皮むきや味見、配膳や下膳に参加するほか、おやつ作りにも積極的に参加してもらい食事が楽しみになるよう工夫している。コロナ禍で外出に出かけられない日々が続いているが、好きなものや食べたいものが食べられることや、季節毎の行事メニューを利用者と職員が一緒になって調理し食べることを大切に考えながら毎日の食事を支援している。

年2回の災害訓練に地域住民も参加していたが、コロナ禍の現在は参加を控えてもらっている。全居室掃き出し窓のため、万一の際に避難しやすい造りになっている。また、居室入り口のネームプレートを外すことを避難済みの合図と決めたり、トイレや浴室等、全てのドアに避難済みカードを備えることで、一目で避難したことがわかるよう工夫している。備品として自家発電機やパッケージ型消火設備を備えている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝朝礼で理念の唱和を行い、共有し実践に繋がっています。	事業所独自の理念の他に経営理念と社訓を掲げ、毎日利用者も一緒に唱和することで意識付を図ると共に、定期的に理念を振り返る機会も設けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の病院や買い物、理美容など地域のお店を活用しています。	コロナ禍で地域行事や保育園児との交流はできなくなってしまったが、近隣の散歩やコスモス畑見物の時に地域住民と挨拶や会話を交わしている。コロナ収束後は地域行事や園児との交流を再開させたいと考えている	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の職員も多く、電話での相談や直接相談される事も多い。その際には、その方の状況に応じたアドバイス等をさせて頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、事業所の運営状況の報告をさせて頂いている。現在コロナ禍で書面配布の方針をとっているが、配布時に意見を頂いたり。意見・要望等を記入する用紙も配布・回収しています。	コロナ禍のため直接の会議開催は難しく書面交換の形式をとっていたが、感染者状況が落ち着いた令和4年1月は実際に会議を開催し事業所活動の報告や事故報告等についてを意見交換することができた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議を通じて、現状報告を行い、生保の担当の方も親身に対応して頂いています。</p>	<p>行政職員とは介護認定申請や相談事がある時、また運営推進会議議事録を提出する際に事業所の実情を伝え連携を図るほか、行政主催の研修会や社会福祉協議会、福祉事務所とも意見交換を行い関係を深めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>代表者や全ての職員が身体拘束に関する具体的な行為を理解し、拘束をしないケアに取り組んでいます。また、定期的に勉強会も実施し、見直し等も行っています。</p>	<p>身体拘束に関する内部研修を年8回実施し、身体拘束の廃止や弊害について学ぶ機会を設けている。言葉による拘束については声のトーンや笑顔で話をする心を心がけると共に、職員の不適切な対応に気付いた際は職員がお互いに注意し合う関係を築きたいと会議等で説明している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待に関して、勉強会を実施し、日々のケアの中でも言葉使いや介助方法など見直しや助言等実施している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護の勉強会に参加したり、生保の担当者と成年後見人に関して、相談・助言等頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の締結、解約、改定の際には十分な説明を行い、疑問や不安に思う事等も訪ねて、質問等に応じ、理解・納得を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>契約書や施設内に意見ができる第三者機関を掲示・説明している。また、いつでも相談できる関係性を築き意見等頂いた際は、職員間で共有し取組んでいます。</p>	<p>請求書と毎月作成している新聞を家族に手渡ししているため、その際に運営に関する意見や要望を尋ねている。また面会時に意見を聞き取ったり、家族も地域に住む方が多く馴染みの方ばかりのため、日頃から何でも言い合える関係ができています。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月職員会議を実施し、意見交換の機会を設けている。また日頃より随時意見を尋ね、反映させています。</p>	<p>申し送り時や職員会議、また職員の様子等から個別に話を聞くこともある。職員が意見を出しやすいよう職員会議では職員一人ひとりに質問する等、全員に意見を求め、発言する機会を作っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>毎月勤務実績の報告を行い、把握している。給与に関しては、職員の処遇が良くなるようにと、給与水準を上げる方向で取り組んでいる。アイパッド導入を行い、職員の業務効率化・負担軽減も図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>アイパッド導入した事で、コロナ禍であるが、ZOOMを通じて外部研修ができる機会がある。また、毎月施設内での勉強会を実施している。新人教育を通じて既存の職員も見直す機会となっています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人会議を実施し、他の事業所の取組み状況を知る機会があり、また、認知症サポーターの活動を通じて、他の事業所と交流する機会があり、サービスの向上に活かしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>困っている事・不安なこと・要望をよく傾聴し提供できる支援内容を説明し安心して生活できるように努めています</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族・本人が安心して生活できる場であることを確認して頂き、要望を十分に傾聴しケアプランを立案・説明し、いつでも相談できる旨を伝えて了承を頂いています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>看護師・介護支援専門員にてサービスの必要性を理解しニーズを把握し家族・本人の意向を尊重しサービス提供をできるよう努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>御利用者様と一緒に食事を作ったり食べたり洗濯ものを干したりたたんだり、お花を育てたり家庭的な生活を支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月事業所新聞を発行し、新聞を通じて、状況報告を行っています。また、アイパットを活用し、ラインで家族との電話や写真・ビデオ等を通じて交流できるよう支援しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナウイルスにより関係継続はできていなかったです。最近、コロナウイルスが落ち着いていたので、理美容に関しては馴染みのお店や訪問で散髪する事ができました。	これまでの人間関係や生活歴を基本情報にまとめ、入居後も関係が途切れないよう電話や面会等を支援している。携帯電話を持っている利用者もあり、家族や兄弟と自由に会話を楽しまれている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	身体機能を踏まえテーブルでの配置を工夫し孤立しないよう配慮しています。新型コロナウイルス感染予防対策でパーティション使用にてやや関わり合いが薄くなっていることが気がかりな点もあります。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もご家族から近況報告や相談の連絡を頂き、状況に応じてフォローや支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	スタッフの都合を優先せず、本人の意向を尊重し生活支援しています。必ず本人の同意をえて行動するように心がけています。	日常的に着る服や食べたいもの、したいことを直接尋ねており、本人がうまく表現できない場合は二者選択で問いかける等、可能な限り本人の意思を尊重できるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御利用者様の状況を把握するためにサマリーや他の事業所からの情報提供、ご家族より情報を頂き、把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の言動や行動記録を残し情報を共有して現状把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議を行い、モニタリングし介護計画を見直ししています。新型コロナウイルスにより家族へは電話で意見・要望等を確認し、現状に即した介護計画を作成しています。	本人には日常会話から、家族からは電話や面会時等に意向を尋ねケアプランに反映させると共に、ケア会議によるカンファレンスや定期モニタリング、また主治医の意見も参考にしながらケアプランを作成している。状態や意向の変化を確認した場合は速やかにケアプランを修正している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>申し送りを朝礼・夕礼で確認し日々の記録もしっかり記録しています ケア会議で意見を話し合いモニタリングし介護計画を作成しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ニーズが発生した場合は本人・ご家族に報告し対応しています。居室変更や福祉用具の利用などその方の心身の変化に伴い、状況に応じて対応し、ケアプラン等も変更し同意も得ています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進委員会を通じて、駐在所、民生委員、地域の方々と意見交換を行いサービスの向上に努めています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所後もかかりつけ医の受診支援を行い状況報告し適切な医療が受けれるよう支援を行っています。</p>	<p>入居前のかかりつけ医を把握し、入居後も本人家族が希望する医療機関への受診を家族と職員が協力して支援している。受診の内容は申し送りノートに記入し、申し送り時や必要に応じて随時伝達するようにしている</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師による高齢者に多い疾患の勉強会を実施し、異常の早期発見に努めています。毎日朝礼・夕礼で気になったことなど情報交換し早期受診できるように努めています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には生活サマリーを作成し情報提供しています。担当医師・看護師・SWより退院時情報をいただき退院後安全に生活できるようケアプランを作成しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時や急変時に ご家族・主治医と話し合いを持ち方針を確認・情報を共有して支援を行うようにしています。</p>	<p>重度化の指針を作成し入居契約時に説明と同意をもらっている。看取りは行わない方針のため看取りに関する指針は備えていないが、重度化しても可能な限り事業所で過ごせるよう本人や家族、主治医とも話し合いを繰り返しながら支援につなげている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年1回普通救命講習を受けています。急変時や事故発生時のマニュアルも作成し看護師からの指導助言を実施しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の総合訓練（夜間・日中想定）で行い1回は消防の方の立会いの下、指導をいただいています。</p>	<p>年2回地震や火災、台風等の総合災害訓練を実施しており、その際に備蓄食料品の消費期限確認まで行っている。備品としてラジオやカセットコンロ、自家発電機を準備すると共に、スプリンクラーやパッケージ型消火設備を備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	御利用者様の尊厳を第一に考え誇りと尊厳を損ねない声掛けを徹底しています。	プライバシーや接遇に関する研修を年間研修計画に組み込み、言葉遣いや羞恥心に配慮した声掛けを意識するよう努めている。また、入室時やカーテンの開閉の際も許可をもらってから行うようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人の希望をゆっくりと確認し遠慮なく発言できる様取り組んでいます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御利用者様の尊厳を第一に考え御利用者様のペースに合わせて支援しています。リハビリなどは参加していただけるよう個々に応じた個別訓練を提供しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服の選択はご自身にして頂きイベントの時にはお化粧品リハビリも取り入れております。散髪に関しては、11月頃訪問や馴染みのお店でされました。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査を3か月に1回は行いメニューも季節の野菜を中心に提供しています。おやつ作りも力を入れており、こねたり・焼いたり協力をしていただき楽しい時間を提供しています。	調理の下ごしらえから配下膳、またおやつ作りに利用者も参加している。献立表作成時には料理の本を見てもらったり、その時に食べたいものを尋ねてメニューに取り入れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量水分チェックを毎日行っています。食欲低下がある方は嗜好品を代用し提供しながら栄養状態が悪化しないよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い夕食後就寝前はいれば洗浄剤を使用し、清潔を保持しています。義歯のない方はうがいや舌ブラシを活用しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	御利用者様の状態に応じて、リハビリパンツ・パットなど選択しています。排泄リズムも個々に応じて声掛け・誘導を行っています。立位可能な方は全員トイレで排泄できるよう支援しています。	タブレットを使って排泄管理を行っている。立位や座位が保てる場合は基本的にトイレ誘導につなげており、夜間もトイレを使う利用者が多い。職員全員が統一したケアが行えるようケアプランに支援内容を組み込んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄は毎日観察情報を共有し、水分補給を心掛け、食物繊維のお多い食材を提供しています。腹部マッサージも看護師にて行っています。緩下剤も医師の指導を受けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	日曜日以外は入浴できる支援を行っています。入浴前にはバイタルを測定し、希望を伺い、音楽をかけ入浴剤を使用し入浴後にはローションを使用し保湿にも努めています。	隔日入浴を基本にしているが、希望があればいつでも入浴は可能である。また、音楽を流しながら、入浴剤を使用したり、冬至にゆず湯を提供する等、入浴が楽しくなる工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の室温・湿度・遮光・寝具を確認し本人に適した環境を整え、休息した時にゆっくり休んでいただけるよう声掛け配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	新しい内服処方時には勉強会や情報を共有できるよう看護師が指導しています。服薬時は日付・名前・服薬内容を読み上げ確認をご利用者様と一緒にしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活リハビリとしてタオルたたみ・洗濯干し・野菜の皮むき・漬物づくり・おやつ作り・作品作り役割や・楽しんで頂けるよう支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルスにて買い物など控えていただきましたが、町内のお花見を車内からでしたがいたしました。またコスモスが近くに咲いた時には一人ずつではありますが散歩をいたしました。	コロナ禍以前は保育園の運動会に参加したり、道の駅まで買い物に出かけたり外出していたが現在は控えている。ただ、屋内ばかりではストレスがたまる恐れがあるため、コロナ感染状況に応じてドライブやコスモス見物に出かける等、人混みを避けた場所に出かける機会を作り気分転換を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>新型コロナウイルスもあり外出買い物は控えていただきましたが、ご希望のものを担当者で確認し購入しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>アイパットを導入し、ラインを通じて、テレビ電話や日頃の写真・ビデオを撮影しラインで閲覧できるようにしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>新型コロナウイルス対策に徹し適時時間に消毒・換気をしています。ソーシャルディスタンスを徹底しながらレクレーションを行い、手作り作品も作り展示しています。ウッドデッキの空間にお花を植えたり季節感を感じていただいています。</p>	<p>フロアには利用者と職員と一緒に作った季節の作品が飾られている。コロナ感染症対策として、テーブルにパーテーションを設置し、こまめな換気やコロナ対策用空気清浄機を備えるほか、消毒チェック表を準備して定時の拭き掃除を徹底させている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間のフロアにはテーブル・ソファ・イスを配置し、ゆったり過ごせる空間にしています。TV等も見やすい位置に配置しておりどこからでも見られるようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用様が今まで使っていた家具・お布団など使用し生活しやすい環境配置も一緒に考え定期的に衣替えも一緒にしています。居室には椅子等も準備しています。	電動ベッドや加湿器、エアコン、ハンガーラックが備え付けられているほか、位牌や電気ポット等これまで自宅で使っていた馴染みの品を自由に持ち込み、過ごしやすいよう配置している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーであり家庭的環境で移動できるようにしています。車椅子移動も自走できる方にも優しいスペースを作りをしています 衣類等自分で選択できるように見やすい位置に配慮しています。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない